

研究者各位

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構  
宇宙科学研究所長 國中 均

## 2023 年度共同利用(惑星大気突入環境模擬装置)の 公募について

宇宙科学研究所に設置されている惑星大気突入環境模擬装置（アーク風洞）の共同利用を下記要領のとおり公募いたします。応募される方は公募システムからお申込み下さい。

### 1. 公募テーマの種類

本実験設備の利用を必要とする耐熱材料等の研究

### 2. 共同利用に供される装置概要

惑星大気突入環境模擬装置は、アーク加熱風洞として相模原キャンパスに設置され、その付帯設備として電力供給設備、作動ガス供給設備、ガス排気設備、冷却水設備、計測設備から構成されています。また、設備に関するお問合せは高速気流総合実験設備専門委員会（wtlab(アトマーク)jaxa.jp、(アトマーク)を@にかえてお送りください）までお願いいたします。

3. 研究期間 2023 年 4 月～2024 年 3 月

4. 申込期限 **2023 年 1 月 30 日(月)17 時**

5. 申込方法 [https://www.gs-conductor.com/JAXA\\_Facility/login.aspx](https://www.gs-conductor.com/JAXA_Facility/login.aspx)

上記の URL から公募システムにお入りください。

新規アカウントを作成の上申込みを行って下さい。

（シンポジウムシステムのアカウントも使用できます）

申込書、体制表をダウンロードし必要事項をご記入のうえ、申込みを行って下さい。

### 6. 共同利用ご応募に際しての注意点

- ・ 申し込みいただいた研究については専門委員会にて審議・選定を行います。最終的な採択については、宇宙科学研究所の予算状況等を検討のうえ、4 月（予定）に行います。
- ・ 研究代表者の方は、応募される研究課題に参画する研究者（共同研究者）、大学院生の **2023 年度段階**の情報をとりまとめて「体制表」にご記入のうえ、申込書と併せて提出ください。
- ・ 研究課題が採択された場合、**体制表記載の研究者（JAXA 職員を除く）、大学院生（総合**

研究大学院大学物理科学研究科宇宙科学専攻の方、東京大学大学院学際理工学講座の方、JAXA 特別共同利用研究員等、JAXA 職員を指導教員とされる方を除く)の方々は「同意書」及び「一般安全教育の受講・確認票」、大学院生の方は「災害傷害保険と責任保険(2種類必要)加入証明の写し」も併せて、速やかに公募システムから提出願います。( <http://www.isas.jaxa.jp/researchers/inter-university/> を参照願います。)

同意書等の提出後、皆さまをそれぞれ、「大学共同利用システム研究員」、「大学共同利用システム研究員補」として登録し、ユーザズオフィスで各種サービスをさせていただきます。(同意書、安全教育受講確認書・誓約書の有効期間は5年)

- ・ JAXA 外の利用者で実験時に旅費の支給が必要な場合は、必ず申込書VI.にご記入いただくようお願いいたします。なお予算枠の制限があるため、ご希望に添えない場合がございますが予めご了承ください。
- ・ JAXA 内における研究、プロジェクト等でのご利用の方は使用にかかる実費負担をお願いしていますので、応募時にご相談ください。

#### 7. 本共同利用で得られた研究成果の報告及び公表について

惑星大気突入環境模擬装置の利用により得られた**成果をサマリ**として提出して下さい。フォーマットについては採択後にご連絡します。**提出期限は 2024 年 2 月 26 日 (月)**とします。

共同利用の結果については、**毎年 12 月に開催する宇宙航行の力学シンポジウム**で御報告下さい。またシンポジウムのプロシーディングの提出も必ず行ってください。(発表ができない場合でも必ずプロシーディングで御報告下さい)。

宇宙航行の力学シンポジウム以外での研究成果の公表の際には、その論文、報告等に「宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所惑星大気突入環境模擬装置」を利用した旨明記するとともに、当該論文、報告の別刷または写しを高速気流総合実験設備専門委員会に提出してください。なお英文の場合は以下の例を参考に謝辞等で明記下さい。

- ・ The research results were obtained using Arc Heating Facility of ISAS, JAXA.

#### 8. 個人情報の利用目的

申込者から提供いただいた個人情報は、当該試験施設・設備等の利用、大学共同利用システム研究員及び同研究員補の採択や管理、相模原キャンパスにおける安全や社屋の管理、ユーザズオフィスにおける各種サービスの実施、機構が主催する関連するシンポジウム等や当該試験施設・設備等の翌年度の公募の案内のために利用します。